



21 落ち着いたきのあるペガサス

But you and I, our love will never die,
but guess who cried come first of May.

FIRST OF MAY(若葉のころ) THE BEE GEES

【オーバーセットテキストについて】

右の2問の校正箇所はわかりますか。

そうです。上の問題では「次のように」が指すものがなく、下の問題では選択肢のエがありません。

このように、問題の下部がない不備は、初校ではなく、再校や三校など校了直前のものによくあります。それは原因が、「オーバーセットテキスト」と呼ばれる組版上のミスだからです。

組版ソフトでは、文字を入力するエリア（テキストフレーム）を設定し、その中に文字を入力します。文字がテキストフレームに入りきらないと表示されません。これが、「オーバーセットテキスト」です。

オーバーセットテキストがあると印刷時にエラー表示が出ます。初校作成時にはエラーの箇所を修正してエラー表示が出なくなってから印刷するので、意外と初校では問題の下部がない不備はありません。しかし、再校・三校で問題文を一部修正する際には、修正した箇所だけをチェックしてしまいがちです。行数が増えたことにより、問題文の下部がテキストフレームに入りきらなかったことをスルーしてしまうのです（エラー表示もスルー）。

【校正漏れをしないうために】

上の問題は、解答用紙に「 $2\text{Fe} + \text{O}_2 \rightarrow 2(\quad)$ 」とプレ印字されていると、問題としては解けます。下の問題は、エが正答でなければ解けません。「解けるから、たぶんOKだろう。」という感じで校正作業をすると、校正漏れをしてしまいます。

校正時には、文章の意味を考えて読むことが大切です。上の問題では、「次のように」の意味を考え、下の問題では、「次のア～エから」の意味を考えます。

どちらも、教材では定番の表現ですので、文字を追うだけで文章を流して読んでしまいがちです。しかし、問題用紙を前にした受験者は真剣に文章の意味を考えて読みます。受験者のように、「これを落としたら偏差値が下がってしまう。」くらいの意気込みで、文章の意味を考えて読んでみましょう。

業務連絡

ゴールデンウィークはカレンダー通りの休業です。

熊本・大分の地震により、被災された皆様、そ
のご家族の方々に対しまして、心よりお見舞いを
申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申
上げます。